

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

印刷も管理も機能を上手く活用したら 便利で快適な作業体制になりました！

宗教法人 生長の家 様

岐阜市にある生長の家の職員の皆様に
2013年5月に導入したORPHIS EX7200について感想を伺いました。



これ1台で、新聞作成から資料印刷まで出来てしまうのが凄いです！



カラーで綺麗に印刷でき、読みやすいと好評です。

営業 担当者の声

印刷物の内製化をしていきたいとご相談を受け、印刷の内容からORPHISが適していると思い、ご提案させていただきました。機能や印刷の方法など、困ったことがあれば解決できるよう、良いアドバイザーとして頑張ります。

営業担当：谷貝 太志



①原稿作成、校正から印刷までの内製化に成功！紙資源の節約にも貢献！！

私どもの主な印刷物は会議資料、行事資料(チラシ等)、機関紙(新聞)の発行です。中でも機関紙についてはORPHIS導入前、毎月約3,000部を校正から印刷までの全てが外注でした。ORPHIS導入のきっかけは当時使用していた印刷機が更新の時期であったこと、機関紙制作のコストダウンを図りたいと考えていたことによります。

ORPHIS導入と同時に、機関紙作成のための編集ソフトを導入し、原稿の作成、校正から印刷までの内製化体制を確立しました。編集スタッフがプロ顔負けの編集力を発揮してA4・12頁の機関紙が誕生し、コスト面でも外注費用の1/3に削減されました。(ORPHIS本体のリース料を差し引いても1/2のコスト削減！)

この機関紙作成の内製化の利点は、編集作業が印刷実施直前まで出来ることと、印刷部数の増刷が1冊からでも可能なことから、紙資源の節約にも貢献していることでしょうか。実際現在の印刷部数は無駄を見直して2,120部程度となっています。

②ORPHISなら、管理もしっかり行えるんです！

その他、私どもが採用したオプション機能にICカードがあります。私どもでは1台のORPHISを複数の組織やグループが共用していますが、それぞれに対して年に一度印刷代金の請求をします。その際このICカードでの管理が役立ちます。これにより紙資源の無駄遣い抑制にも意識が向けられているようです。

またよく利用するのがPDFファイルの作成です。紙資料をPDFに変換するのも、非常にスピーディーです。以前はインクジェットプリンタのPDF変換機能で作業していたので、半日以上かかった仕事も、あっという間にできて重宝しています。(特に事務局長は大喜び！)

この他おそらく優れた機能はあるのですが、多機能ゆえにそれを扱う人間の方が追いついていません。早く追いつき、より良い作業環境を作り上げていきたいものです。

ORPHIS EX7200…スピード：毎分120枚、コスト：フルカラー1枚1.56円。詳しくはジムブレンまでお尋ねください。

岐阜県内のJB導入事例はHPにて公開しています。閲覧/パスワード jbs566jb1564